

簿記(商業科) シラバス

校長		教頭	
----	--	----	--

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科
簿記	3	2	全	必修	商業科

1 概要および目標

企業における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術を習得させ、簿記の本質的な仕組みについて理解させるとともに、ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を育てる。

- ・企業における取引を合理的・能率的に記帳する知識と技術を習得させるとともに、簿記の基本的なしくみについて理解させる。
- ・会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動を理解する能力を育成する。

2 成績評価

(1) 定期考査

各学期、中間考査・期末考査を実施し、授業内容を中心に、応用を含めて出題する。

(2) 小テスト・単元テスト

授業の中で随時実施し、計画的に学習されているか、確実に理解しているかを見る。初期段階でのつまづきをなくすようにする。

(3) 検定試験

全国商業高等学校協会が主催する簿記実務検定試験の2級を受検し、これまでに学習してきた成果を見る。

(4) 提出物

授業の進度に応じ、自宅学習として課したものや、長期休業中（夏季・冬季）の課題。

(5) 授業態度

参加の意欲、発問などの主体的な姿勢を評価する。

定期考査・小テスト等	検定試験	提出物	授業態度
60%	10%	20%	10%

3 使用教科書・教材

- ・教科書：実教出版「新簿記」
- ・問題集：実教出版「新検定用 反復式学習と検定 簿記問題集全商2級」
- ・問題集：実教出版「全商簿記実務検定 模擬試験問題集2級」

4 授業の展開と形態

HR単位の一斉授業

5 学習方法

授業の始めに簿記学習についての概要を説明し学科の目標を十分に理解させ、学習に対する意識付けを行う。学習内容の定着のために、なるべく多くの演習の時間を設け、定期的な課題プリント等による家庭学習の慣習化を図る。単元ごと的小テストを行い学習の定着度を確認しながら授業を進めていく。検定試験の受験（課外講座等実施）を通して学習内容の定着を図る。

6 評価の観点の趣旨

評価の観点・内容		評価の方法
関心・意欲・ 態度	・費用・収益の繰り延べと神輿、有価証券の評価など新しい決算整理事項に関心を持ち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。 ・特殊な商品売買取引と特殊な手形取引に関心を持ち、どのような点がとくしゅなのかについて、自分から進んで調べたり、まとめようとする。	提出物 発表
思考・判断・ 表現	特殊仕訳帳の記帳方法をマナビ、なぜ特殊仕訳帳を用いると記帳の合理化につながるのか、また、5伝票制が3伝票制に比べどのような点でより合理化されているのか考えている。	定期考査 小テスト 単元テスト
技能	本支店間および支店相互間の取引の記帳や本支店の合併財務諸表の作成に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	演習・ 定期考査
知識・理解	株式会社会計の基礎的内容を理解し、株式会社における基本的な取引の記帳や株式会社に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	定期考査 検定試験

7. 年間指導計画

学期	章・節	月	時間	指導の目標
第1学期	第5編 決算(その2) 第24章 決算整理(その2)	4	6	○ 費用・収益の繰り延べ・見越しの意味とそれぞれの記帳方法を理解させ、習熟をはかる。 ○ 減価償却の間接法、有価証券の評価替えなどの記帳方法を理解・習熟させる。
	第25章 財務諸表の作成(その2)	5	9	○ 費用・収益の繰り延べ・見越し、間接法、有価証券の評価などを含めた財務諸表の作成について習熟させる。
	第6編 取引の記帳(その2) 第26章 特殊な商品売買の取引 第27章 特殊な手形の取引	6	12	○ 割賦販売・委託販売・未着商品売買・試用販売・予約販売の意味を明らかにし、それぞれの記帳方法を理解させて、習熟をはかる。 ○ 自己受為替手形の手形関係を明らかにし、その記帳方法を理解させる。 ○ 手形の書き換えの意味を明らかにし、その記帳方法を理解させる。 ○ 手形が不渡りになった場合の処理手続きと記帳方法を理解させる。 ○ 荷付為替手形の意味を明らかにし、その記帳方法を理解させる。 ○ 手形の保証債務の意味を明らかにし、その記帳方法を理解させる。
	第7編 仕訳帳の分割 第28章 仕訳帳の分割	7	9	○ 単一仕訳帳制度による記帳の流れを復習させ、記帳の合理化の意味を明らかにし、その方法について理解させる。 ○ 特殊仕訳帳・仕訳帳の分割の意味を明らかにし、複合仕訳帳制度のしくみとその長所を理解させる。 ○ 現金出納帳・当座預金出納帳・仕入帳・売上帳を、それぞれ特殊仕訳帳として用いた場合の記帳方法、転記のしかたを十分に理解させ、習熟させる。
第2学期	第29章 5伝票による記帳	9	12	○ 仕入伝票・売上伝票の起票のしかたを理解させる。 ○ 5伝票の集計・転記のしかたを理解させる。
	第8編 本支店会計 第30章 本支店の取引 第31章 本支店の財務諸表の合併	10	12	○ 支店会計の独立の意味を理解させる。 ○ 支店会計が独立している場合の本支店間の取引、支店相互間の取引の記帳方法を理解させる。 ○ 本支店合併の損益計算書・貸借対照表の作り方を理解させ、その作成に習熟させる。
	第32章 株式会社の取引(その1)	11	12	○ 株式会社の設立と株式の発行時の記帳方法を理解させる。 ○ 純利益の計上と剰余金の配当および処分に関する取引の記帳方法を理解させる。
	第33章 株式会社の取引(その2)	12	9	○ 社債の意味と発行、利払い、決算における記帳方法を理解させる。 ○ 社債の償還時における記帳方法を理解させる。 ○ 法人税・住民税・事業税の記帳方法を理解させる。
第3学期	総合問題 全商簿記検定に向けての検定対策	1	9	○ 検定へ向けて模擬問題を活用し、合格を目指す。 ○ 全商簿記検定2級範囲を網羅し、苦手分野を集中的に学習し、習得させる。 ○ 模擬試験を行い、制限時間内に正しく処理する技術を習得させる。
	1年間のまとめ(2級の復習)	2	9	○ これまで学んだ内容についてのまとめを総合的に学習する。
	「会計」に向けての学習	3	6	次年度履修科目に向けての進んだ学習に取り組む
合計			105	